



『ポーポキ、平和ってなに色？ ポーポキのピース・ブック1』（エピック 2007 ¥1500）
もうそろそろプレゼントの季節です！年末年始の贈り物にポーポキの本はいかが？

最近の新聞報道

- ・ 『空』02 9月号
- ・ 大阪YWCA 8・9
- ・ 朝日新聞 (9.2)
- ・ 新社会 9.11
- ・ THE YMCA No.699/2007 Sept. p.9
- ・ 「第2回 YMCA 東ティモール・ユース・ピース
キャンプ・アジア太平洋 YMCA 同盟」(湯前
梨花)
- ・ 朝日新聞 11.1
- ・ YouTube <http://youtube.com/watch?v=lcN0BBmg05c>



ポーポキ in Niigata



(1) ポーポキ in 新潟を振り返って

神戸大学大学院国際協力研究科修士課程

榎屋史子

今回のポーポキ通信は、おいしいお米の収穫の時期を迎え、秋の香りを漂わせる新潟からの報告です。10月6日、気持ちの良い秋晴れの日にはポーポキが新潟にやってきました。今回のワークショップは、「平和ってなんだろう？ねこのポーポキと一緒に五感で平和を感じるワークショップ」という

タイトルのもと、会場に集まった40名ほどの参加者は全身を使ってポーポキと一緒に平和について楽しく考えました。中でも、紙芝居と本を使ってピースブックの一部を紹介する「ポーポキ劇場」では、アレキサンダー先生の語りとともに次々と登場するポーポキの姿に驚いたり、笑ったり、心を打たれたり、子供だけではなく、いつのまにか大人までもポーポキの世界に引き込まれていきました。また、この日の楽しさは、それぞれのグループが作り上げるピースレッスン（ピース・ガーデン、ピース・ランチ、ピース・ページから各グループがひとつのテーマを選んで作成）からもよく伝わってきました。



個々が思い描く平和の姿をポーポキを使って自由に絵に表現することで、参加者の中で新たな発見や出会いが生まれ、さらには人の数だけ存在する多様な平和の姿にも気づくことができたのではないのでしょうか。今回のワークショップでポーポキと一緒に楽しく平和を感じることによって、平和を当たり前のように感じていた人、平和について

考えたことがなかった人、そして平和について勉強をしてきた人など参加したすべての人にとって、平和をより身近な視点から考えるきっかけとなったことでしょう。

皆さんもご存知のとおり、近年、新潟では度重なる地震や洪水などの自然災害、そして現在も続けられる復興作業によって、長い間、平和の状態を感じることができなかった人、平和の姿を忘れかけてしまっていた人、平和を遠くに感じてしまうようになってしまった人、そして何よりも平和な新潟を切望する人が多くいらっしゃいます。



新潟出身の私もその一人ですが、目の前の現実に啞然と立ちすくんでしまいそうな時に、立ち向かう勇気を与えてくれるのは自分の身近にあったものや忘れかけていた



大切なものかもしれません。

それは家族、友人、恋人やペット、もしくは好きな食べ物や大切な宝物など人によって様々でしょう。私は今回のワークショップで出会った、参加者の楽しそうな表情や絶えることのない笑い声から、ポーポキも私たちに勇気や力を与えてくれる大切な存在であることにも気づくことができました。

これからも一人でも多くの新潟の人に、そして日本中の人々の心にポーポキが居続け、“平和って何？”と問い続けてくれることを期待しています。ポーポキ、ありがとう！またおいしいご飯を食べに来てね！

ポーポキ in Niigata

(2) 「いくつになっても大人になれない・・・わ・た・し！ 一新潟でのひとコマ

新潟YWCA・ナインにいがた 横山由美子

2007年10月6日 ついにポーポキにいがた上陸！と宣伝し、40名の参加者と一緒にロニーさんの「平和ってなにいろ？ポーポキと遊ぼう ワークショップ」のはじまり。原爆や戦争の体験談や怖い写真など——いわば「壊された平和」から学ぶという一般的な方法よりも、もっと広くもっと身近な・・・五感や全身で感じる楽しい平和活動がロニーさんのワークショップでした。

年齢は1歳から70代まで。ロニーさんがゆっくり声がけをしながらポーポキの絵本を読んでくださって、子どもたちの笑顔が広がり始めました。5グループに分かれて、「平和に暮らすためのはずせない項目を3つに絞り込む」という難しいWSを経て、後半の絵で



表現する作業では、**みんなの平和へのメッセージが笑顔と共にひびいていました。**ロニー



さん、神戸からポーポキと一緒に新潟まで来て下さって本当に**ありがとうございました。**

お疲れ様でした！ということで、ご案内したのは新潟市巻町の温泉「じよんのび」とワイナリーのあるレストラン。この庭はポーポキの仲間がたくさんいて、ロニーさんのまわりはいつの間にか猫たちが集まっていました。次の日は白根

（「大凧」で有名？）で凧フェスティバルに参加。300円のビニール凧を見事に高々と揚げるロニーさんは寝転んでいました。凧揚げ名人のロニーさんは、帰り際に凧を揚げながら帰り道を歩く芸当に挑戦？——ところが**立派な冠ワシの凧に糸が絡まってしまいました。**ちよびりシュン…となったロニーさんは、迷惑かけてごめんなさいの言葉の後に「**いくつになっても、大人になれない…わたし！**」と、**いたずらっぽく笑ったのでした。**——私は、「同類です。…」と笑いながら平和なひとコマを心に刻みました。

ポーポキは今、空を自由に翔けまわり、新潟でも活躍してくれようとしています。「**平和ってなに色？どんなにおい？**」…たくさんの人々との出会いを大切にしながら**ポーポキはやさしく問い続けてくれます。**



* ソク・サイさんは、2005年に神戸大学大学院国際協力研究科で修士の学位を取得し、現在カンボディアで教鞭をとっています。最近、『ポーポキ、平和ってなに色?』をクメール語に訳してくれました。「私にとってのポーポキ」の原稿をお願いしたところ、エッセイと写真が送られてきました。写真があまりにもよかったので、「写真展」という形で皆様にお見せすることにしました。翻訳は榎屋史子さんがしてくれました。 — ロニー

SOK Say 写真展

Senior Lecturer, Language Education
English Department of the Institute of Foreign Languages
Royal University of Phnom Penh
私が見たカンボディア

写真1:

プノンペン郊外にある
Kean Svay リゾートへ行く
途中で見かけた物乞い



写真2:

東部の州に住むコラという少数民族の民族衣装を着ているパフォーマーたち。最も周辺化されているマイノリティ。



写真3:

多くの観光客が浜辺で遊んでいるそばで、教育の時間を削ってまで仕事をしていると思われるこの女の子は、スナックを売る。家族を支えるために子どもを使うことを支持する人たちにとっては、この姿は子どもの仕事だといふかもしれないが、僕にとっては児童労働としか思えない。

写真4:

可愛い女の子二人はスカベンジャーと呼ばれる浜辺でゴミなどを集めて生計を立てようとしている子たちだ。ときどき、自分たちの生活のために物を盗むこともある。



写真5:

海で遊んでいる子ども。この子どもも浜で生活のために物を拾う。

写真6:

この少女（友達の妹）は日焼けをしないようにクリームをつけているが、後ろにいる子どもたちは生活のために価値あるものを探している。



写真7:

手前の女の子は手を組んでいるが、後ろにいる子達は先ほど観光客から盗んだスナックを食べている。私は盗んでいるのを目撃してしまった。



写真8: 浜辺でゴミを探す子供たち。

写真 9:

オリンピック市場で早朝に店の店主の到着を待つ日雇い労働者。彼らはお店の荷物を店主に代わって市場まで運び、お金を貰う。この写真を見ると、大学院の授業のフィールドワークで訪れた大阪の西成区を思い出す。



写真 10:

私の修士論文で取り上げた、少数民族トウプオン族の墓。この共同墓地は違法に作られたもの。



写真 1 1: 「開発」を理由に追い出された貧しい人たちの状況を描くマンガ。



(Courtesy of Neak Chea Bulletin)

写真 1 2: 権力者が人々に「非合法的な土地の入手に反対」と言っているところで、部下が非合法的に土地を入手するのは彼らの仲間だと耳打ちしている。



(Courtesy of Neak Chea Bulletin)

私にとってのポーポキ

ソク・サイ

和訳：槌屋史子

私は戦争の最中に生まれ、まだ戦争が続けられる中で成長してきたので、私にとってポーポキの存在はとても意味のあるものです。平和とは戦争のない状態でしょうか？深く考えなければ、すぐに「はい」と答えるかもしれません。私は、平和とは戦争のない状態以上のものだと思うのです。戦争のない状態に加え、より大切なのは生活の質なのではないでしょうか。字数の関係で、ここでは「平和」を自由、貧困削減、平等や公平、環境保全、そして平和の普及、平和構築と言った意味合いに限ることにします。

ポーポキは「自由」そのものです。その自由とは、私たちが好きなしたいことができ、好きなように動きまわることができ、好きなように表現することができ、自由に情報を受け取ることが出来るということです。ポーポキは部屋中を飛び回って、騒ぎ、散歩をして、一人遊びをして、仲間と一緒に歌うことなどもできます。時に、外に出かけることが危険であったとしても、ポーポキは散歩に出かけ、友達と会ったりします。フリーダムハウスの調査によると、多くの国々の人々にとっての完全な自由は、達成までには程遠いということです。できることならば、いつか愛する地球上のすべての人が自由—土地の取り上げ、違法な土地売買、強制退去、工場のオーナーによる騙しなどの不当な行為に対して声を上げて抗議する自由、自分の好きなパートナーを持つ自由、好きなように移動できる自由、意見を主張できる自由、権力者と話し合える自由を享受できることを願っています。私は、いつかビルマの友達が独裁勢力に対して、彼らの不満を平和的に伝えることができることを願っています。さらに、ビルマ、キューバ、北朝鮮、そしてその他の独裁主義の下で生活をする友達が自由で公正な選挙を通してそれぞれの国を導くべき決定を自由にできることを願っています。

ポーポキはとても幸せものです。豊かな先進国に生まれ、親切で、助けになるやさしい人間の友達と一緒に生活ができるからです。贅沢な生活ができます。（第三世界の多くの人々に比べてとても良い生活です。）未だどれほどの人が極度の貧困の中で生活していることでしょうか？贅沢なものは別にして、どれほどの人が最低限の必要な生活を欠いていることでしょうか？何十億もの人が貧困ラインとされている一日2ドル以下の生活を強いられているのでしょうか。何百万もの世界中の私の友達は未だ飢餓

や必要最低限の生活をできていません。彼らは助けや慈悲を求めて泣き叫んでいます。できることならば、世界中のすべての貧困問題が解決されることを願いたい。それが無理な場合でも少なくとも、*世界中のすべての人々が食べることができ、服を着ることができ、寝る場所が確保されるようになることを願っています。*

ポーポキは公平や平等を意味します。ポーポキは男女平等を実現できることを願っています。つまり、男性が優位で支配的であるという誤解を変え、男性と女性を平等にしてくれることを願っています。ポーポキは、攻撃されやすく、周辺化されやすい人々—子供、先住民の人々、種族の人々、身体が不自由な人々、同性愛者、トランスジェンダーの人々を支持します。そして、ポーポキが肌の色や人種そして出生場所に関わらず、すべての人に基本的な人権を運んでくれます。ポーポキは、富裕層と貧困層の間に、または国境を越えて、公平に富が分配してくれます。ポーポキは、貧困や貧しい国々で起こる搾取を消し去ることができます。私は、いつかポーポキが第三世界、第二世界、第一世界という枠を超えて、ひとつの世界として在れることを願っています。

経済成長は称賛されるべきことです。しかし、環境保全もまた軽視することはできません。この意味から成長とは、人間の顔を持っていなくてはなりません。ポーポキは環境の価値や有用性、さらにその必要性を知っています。ポーポキはその発展を期待しつつも、それらが持続的であることを期待しています。ポーポキは本で新しい建物の建築を喜ぶ一方で、自然が犠牲になることに対する懸念を持っています。つまり、ポーポキは人間の安全保障を主張しています。今日、世界中では自然保全からの脅威の下にあります。それらは徐々に有形で科学的な証拠によって、それらが人間による破壊だと見えてきたのです。しかし、環境破壊の主役である—中国、インド、アメリカ、オーストラリア—は、未だに環境破壊の脅威を無視し、悪い状態の責務をお互いに押し付けようとしている状態です。これらは、気候変動に関する京都議定書の署名を拒絶していることを忠実に表しています。持続可能なものであるためには、経済成長と開発は、持続可能な環境を考慮したものでなくてはなりません。いつか、ポーポキは環境への適度な配慮なしの経済成長は自らの首を絞めることになると、環境破壊を行う人々を説得させることができると願っています。

ある国や人々は、平和を実現するためには戦争の準備をしなければならないと考えます。ポーポキは、逆に平和的で草の根的なアプローチの立場をとります。それは、

平和をつくるためには平和を普及し、平和を構築する必要があると考えるのです。それらは、1945年ユネスコ憲章でも示されています。「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」。¹

世界は平和を達成するための戦争の十分な準備を進めているにもかかわらず、平和にはなっていません。おそらく、ポーポキは私たちに平和な世界を築くための代替的なアプローチや別の方法を教えてくれるでしょう。私は、ポーポキの今日までの行動をととても誇りに思い、支持し続けています。ポーポキは『ポーポキ、平和って何色?』の主人公であり、色々な人に彼のメッセージを運びます。これだけでもとても素晴らしいことです。しかし、ポーポキはさらに、彼の声をあらゆる場所に広めてきました。ポーポキは広範囲に渡って東ティモール、日本、カナダを含めた世界中を旅し続け、キャンプやセミナー、ワークショップなどを通じて平和の普及、平和構築に貢献してきました。平和に対するポーポキの叫びが広まり、すべての人が平和な生活ができるようになることを願っています。そして、スーダンやイラク、アフガニスタン、アメリカにいる戦争を引き起こす人々がポーポキからの願いを聞いてくれることを願っています。

もう一度、私は「平和」の意味—戦争のない状態だけではなく、生活の質が良いことを強調します。多くの国々は戦争も内戦もしていませんが、それでもそれらの国々は「平和」と言えますか。それらの国々で暮らしている人々は生活を楽しんでいるのでしょうか？

チェイ ユー (Chey You)²、ポーポキ! ポーポキ・ピース・プロジェクトや関連プロジェクトが長く続きますように! この愛する地球上のみんなが長生きしますように! がんばれ (Ganbare³) ポーポキ! 私は、皆さんの平和構築ミッションを心から応援します。



¹ Ehrlich, Eugene & DeBruhl, Marshall (Compilers). (1996). The International Thesaurus of Quotations: Revised and Updated. (New York: HarperCollins Publishers), p. 496. 引用

² チェイユー (Chey You) はクメール語で「長生き」という意味です

³ がんばれ (Ganbare) は日本語で「一生懸命」という意味です

お知らせ～今後のポーポキが登場するイベントなど

・ 10. 28 Peace as a Global Language (京都外国語大学)

・ 12. 1 平成 19 年度 国際理解口座「国さ協力」をテーマに 2 回シリーズ(第 2 回)

「国際協力ってなに色? ねこのポーポキと一緒に国際協力と平和の関係を
探るワークショップ」時間:1:30-3:30 場所:(財)西宮市国際交流教会 定員:35 名
受講料:500 円 (当協会賛助会員、西宮ユネスコ教会会員 300 円) 申し込み:11 月 14
日より電話、メールで教会まで 西宮市国際交流教会 0798-32-8680・8676

eメール:nia@proff.ocn.ne.jp

・ 2008.1.31 基調講演、「グローバル化・先住民族・社会正義」をテーマとした研究集
会、ウィニペグ大学(カナダ)、1 月 31 日-2 月 2 日

ポーポキ平和基金について

ポーポキ平和基金はこれからも活動の資金のためにご協力を呼びかけ続ける予定ですが、
本の作成のための資金集めは、3 月 31 日をもって、打ち切らせていただきました。ありが
うございました!



さらにご協力ください!

ポーポキ・ピース・プロジェクトにご参加のみなさま(ポーポキ平和基金
に一口以上を振り込んでいただいたみなさま)には、本がすでにお手元
にとどいていると思います。

これからはピース・ワークショップ、ピースキャンプ、翻訳、『ポーポキ
のピース・ブック 1』などの活動を中心に行なう予定です。ご協力、ご支援のほど、よろしくお
願いいたします。『ポーポキ、平和ってなに色?』についてのコメント、感想、追加注文など
については、popokipeace@yahoo.co.jpにお問い合わせください。

本についての問い合わせや注文はお近くの書店あるいはエピック
(TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918)へ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト popokipeace@yahoo.co.jp



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

口座名称 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円。何口でも結構です。

THANK YOU FROM POPOKI!

